



地域と学校をつなぐために

2年ぶりに「親子体験活動」を行いました。この活動では、地域の皆さんを講師として招き、地域の「自然」、「伝統」、「文化」、「食(今回は未実施)」、「歴史」、「共に生きる」の6つのテーマから9つのコース(染めもの・テラリウム・フラワーアレンジ・レザークラフト・味噌づくり・陶芸・彦一ごま・史跡ウォークラリー・氷川サポート少年隊)を作り、親子で楽しく体験活動を行いました。宮原小CSが主体となって、PTAの交流委員会の皆さんと連携しながら活動内容を考えたり、準備や進行をしたりなど、運営に深く関わりました。



昨年11月6日(土)に、氷川中学校区学校運営協議会主催で「CSの日 防災教室」を行いました。各地区での分散開催とし、CS委員、区長、民生委員・児童委員、消防団員、PTA地区委員、学校職員が協力して、氷川中と宮原小の子どもたちと一緒に防災・減災について学習しました。「登下校中に地震が起きたら」、「地区の危険箇所」、「子ども110番の家」、「防災〇×クイズ」、「宮原防災公園・非常食」などのテーマに沿って、参加したメンバーで役割分担して進行や説明を行いました。地区毎に実施したので、防災や減災についてより身近に捉え、自分事として考えることができました。子どもたちと地域がつながる、災害への備えに効果があると実感する取り組みになりました。



子どもたちの豊かな心と望ましい生活習慣づくりのために

宮原小CSが主体となり、児童・教職員・保護者・地域をつなぐ取り組みを実施することで、「地域とともにある学校づくり」、「将来の地域の担い手を育む学校づくり」が着実に進んでいます。また、「好きです宮原!」を合言葉に、地域を大切に作る心、地域の一員として協力する態度が子どもたちに育まれています。これからも地域の皆さんのお声掛けをよろしくお願いいたします。



正月文化を伝える
門松作り▶



◀町区での
防災教室合同会議

宮原小では、学校と地域が一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」をめざしてコミュニティ・スクールの取り組みを推進しています。学校運営協議会を設置し、学校運営にいろいろなご意見をいただきながら、地域や保護者の皆さまと力を合わせて、子どもたちの豊かな心の育成や学力の向上に取り組んでいます。



宮原小におけるコミュニティ・スクール(宮原小CS)の取り組み

宮原小CSの取り組みの方針

宮原小CSでは、学校と地域住民が連携・協働して、学校教育目標「『豊かな心』を持ち、主体的に考え・判断し、より良く生きる宮っ子の育成」の具現化のために、以下のことに取り組んでいます。

- ① 子どものよさを認め、ほめ、励まし、地域の一員として活躍する体験をさせる
- ② 将来を担う人材育成を主眼に、子どもも大人も共に学び育ち合う活動に取り組む
- ③ 学校を核として、『宮原のよさ(自然・食・文化・伝統・歴史・共生)』を学び、「愛校心」や「郷土愛」を醸成するとともに、それを基盤として自分を見つめさせ自信を持たせる

子どもたちの豊かな心と望ましい生活習慣づくりのために

子どもたちの規範意識を育て、積極的にコミュニケーションをとろうとする態度を育てるために、あいさつ運動一斉行動の日(毎月15日の朝)に、CS委員や保護者が通学路に立って子どもたちとあいさつや言葉を交わしています。美しい正門で、「校門一礼」にも取り組んでいます。



子どもたち1人ひとりの学力を保障するために、CS委員や読み聞かせボランティアの皆さんが学習支援を行う「輝塾」を、毎週木曜日に取り組んでいます。また、PTAと連携し、家庭学習の習慣化や望ましい生活習慣の習得を目指す「ノーテレビ・ノーメディアデー」に取り組んでいます。これは、保護者による朝の校門でのあいさつ運動の際に、子どもたちが自分の挑戦するコースをタブレットで選んで宣言します。その翌日は、テレビやゲームではなく学習や読書、家族との会話などをして1日を過ごすことで、望ましい生活習慣づくりや家族の団らんのきっかけづくりをしています。

